

平成 22 年 6 月 9 日 (水) 13:30~

■■■■■■■■■■ (代表取締役 ■■■■■■■■■■)

項目	内容
<p>計画に関する意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄市には海を抱えたホテルがない。本地区はホテルとマリナーが連携できるので立地条件が良い。進出する意向はある。 ・ ホテル事業として 200~300 室程度の規模を考えている。 ・ 商業施設でも条件次第では進出を考えている。(規模は未定)
<p>その他 (魅力向上などに関する意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10 年後の経済状況は (現状に比べて) 良くなることはあっても、悪くなることはないとみている。 ・ 沖縄市もいつまでもそのままではいけない。東部の事業も早く進めるべきである。土地ができれば有効に活用できる。 ・ このような事業によって「雇用の場」をつくることが大切。特に若者が働く場をつくることは重要である。 ・本地区だけではなく、例えば津堅島や久高島にもホテルが整備 (例えば 100 室程度) できれば、クルージング等による相乗効果が期待できると思う。これが、沖縄の観光につながるし、沖縄市の活性化も図れると思う。 ・ 観光客は海を求めている。ホテルからボート・ヨットでクルージング等ができれば人は集まる。

平成 22 年 5 月 21 日 (金) 13:30~

（代表取締役）

項 目	内 容
計画に関する意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内最大級の人工ビーチは魅力がある。 ・ マリーナとの調和により、魅力的な空間になる。 ・ 宿泊施設については何社か紹介できる。弊社もコテージ、あるいはコンドミニアムなら喜んで参加したい。 ・ 県総合運動公園が隣接しており、うまくリンクすることで集客が図れると思う。
その他 (魅力向上などに関する意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊施設用地の南側に公共駐車場を整備するなど、付加価値を上げれば多少単価が高くても進出する企業はあると思う。 ・ 以前の計画ではホテル用地とビーチが車道（4車線）で分断されていたが、それでは企業は進出しにくい。 ・ ホテル用地は 300 室の計画であるが、土地面積または本地区の魅力から、場合によっては 300 室の 2 棟を計画することも可能か。それによって、収支もとり易くなるのではないかと思う。 ・ 東部地域（本地区含む）までの道路網として、本島横断道路の拡充も望まれる。

平成 22 年 6 月 15 日 (火) 12:50~

[Redacted] (代表取締役副社長 [Redacted]、
 専務取締役 [Redacted])
 [Redacted] (常務取締役 [Redacted])

項 目	内 容
計画に関する意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内最大級の人工ビーチは魅力的である。 ・ 健康保養施設が隣接しているので集客が望める。 ・ 各機能を併せた「複合的な開発」も可能性がある。 ・ 10 年先の話ではあるが、色々と検討させていただきたい。今後とも情報交換をお願いしたい。
その他 (魅力向上などに関する意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホテルにはマリーナも必要。 ・ ホテルへの集客には、ビーチだけでなく、背後の商業施設の役割も大きい。 ・ どのような商業施設をイメージするのかによってホテルへの影響も考えられるし、集客効果にも繋がる。 ・ 大型の公共駐車場は必要である。 ・ これだけの敷地なので、交通処理の検討は重要になってくると思う。 ・ 宿泊施設については賃貸の可能性もあるのか検討してほしい。